

古典に学ぶぼう

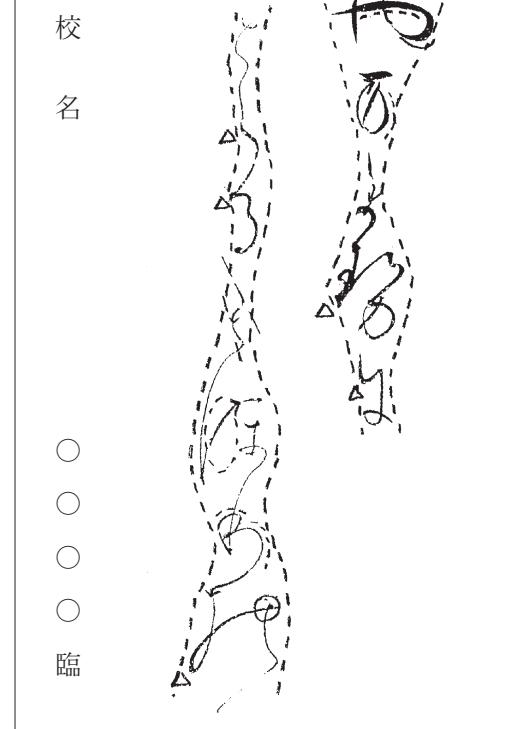
『学び方』

「や万可勢尔とくるこほ利能」

高橋香樹

古典臨書課題

(三月二十二日締切)



高野切第一種(玄社)

能の利りほ こるくと爾に 勢せ 可か 万ま や

- 「に」の変体仮名。△部で筆をすくい上げ同じ筆圧で運筆。
- 「く」の前半まで锋先での運筆。
- △で少し筆圧を加え「る」に連綿。
- △で筆を突き、同じ筆圧で運筆。
- 以降「能」まで锋先にて運筆。一画目と二画目の方向の変化に注意。「ほ」に連綿。
- 部分大きな余白を取る。↑部分は意連綿。
- 「り」の変体仮名。△の曲線部分よく観察したい。
- 「の」の変体仮名。△で筆を返し、弾力を使つて送筆。○部「べ」ように小さく結ぶ。

[出品] 高校生、中学生
(一般部に編入した人も出品可)
[形式] 半紙たて二行書き
[締切] 3月22日
[出品料] 二〇円

学生書道五月号

高野切第一種



鋒先で入筆し、⋮で筆圧を加え、一の部分では弾力を使つて払い次画に意連。二画目軽やかに送筆し末筆は引き抜く。

「ま」の変体仮名。一画目筆圧を加える。⋮で少し圧を加え三画目に意連。三画目柔らかく運筆し「可」に意連。

「か」の変体仮名。一画目から二画目に意連。二画目は鋒先で入筆するが、回転部分では圧を加える。「勢」に連綿。

「せ」の変体仮名。一画目筆を突き、少し横に動いてから縦画へ。結んで△部で筆をしつかり突き、弾力を利用し速く運筆。以降速めの運筆。

「に」の変体仮名。△部で筆をすくい上げ同じ筆圧で運筆。

「く」の前半まで鋒先での運筆。

△で少し筆圧を加え「る」に連綿。

△で筆を突き、同じ筆圧で運筆。

以降「能」まで鋒先にて運筆。一画目と二画目の方向の変化に注意。「ほ」に連綿。

○部分大きな余白を取る。↑部分は意連綿。

「り」の変体仮名。⋮の曲線部分よく観察したい。

「の」の変体仮名。△で筆を返し、弾力を使つて送筆。○部「べ」のように小さく結ぶ。

毛筆競書課題手本（三月二十二日締切）

※ 4月に進級する学年の課題で出品して下さい。

高校かな

立川遊汀先生書

高校漢字(行) 高塚竹堂先生書

学校名

段級

氏名

学校名

段級

氏名

静中に物化を観る（陳必復）

中学かな

川上香蓉先生書

中学漢字(楷) 高橋香樹主幹書

学校名

段級

氏名

学校名

段級

氏名

注意 1. 会員外の出品料は1作品につき231円。

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

※ 4月に進級する学年の課題で出品して下さい。

小学五年 福田香陽先生書

小学六年 福田香陽先生書

学校名

段級

氏名



学校名

段級

氏名



小学三年 安部絢翠先生書

小学四年 安部絢翠先生書

学校名

段級

氏名



学校名

段級

氏名



注意 1. 会員外の出品料は1作品につき231円。

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

毛筆競書課題手本（三月二十二日締切）

硬筆競書課題手本（三月二十二日締切）

高橋香凌先生書

* 高校・中学はペン又は万年筆、色は黒で書いて下さい。
(鉛筆・青インクは不可)

高校・中学

春はあけぼの。

やうやう、白くなりゆく
山ぎは、少しあかりて

紫だちたる雲の

細くたなびきたる。

枕草子（清少納言）

ト 止 此 紫 紫 紫

筆順（行書）

学校名

段級

氏名

* 4月に進級する学年の課題で出品して下さい。

小学一年

高橋香樹主幹書

小学二年

高橋香樹主幹書



1	ト	止	此	紫	紫	紫
枕草子（清少納言）						

注意 会員外の出品料は1作品につき231円。

* 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

硬筆競書課題手本（三月二十二日締切）

高橋香凌先生書

小学六年

筆順	返	三
言	し	寒
言	春	四
訪	が	温
訪	訪	を
誰	れ	く
進	る	り

小学五年

筆順	進	努
歩	歩	力
積	し	を
み	て	積
重	行	み
ね	こ	重
	う	ね

小学四年

筆順	知	春
ら	の	お
せ	と	ど
る	梅	ず
の	の	れ
花	花	を

木木木梅梅梅梅梅

高橋香凌先生書

小学三年

筆順	天	氣
ノ	氣	氣
一	の	氣
ナ	よ	日
ナ		

小学二年

筆順	う	ぐ
一	十	吉
ナ	士	吉
ナ	吉	吉
	声	声

小学一年

筆順	お	ひ
一	ひ	な
ナ	な	ま
ナ	ま	つ
	リ	り

※小学生は鉛筆（2B～4B）で書いて下さい。
※消しゴムを使用せずに書いたものを提出して下さい。